



はじめは？

北海道岩見沢農業高等学校農業土木工学科では、地域の未来を担う高校生が中心となって、農業の技術力向上と自然エネルギーの活用を目指して、平成12年(2000年)から地中熱及び雪冷熱の自然エネルギーを利用した技術開発研究や普及啓発活動を行っています。

地域の主産業である農業分野での活用を促進することで、エネルギーの地産地消社会の創造と、環境に優しい農村づくりを目標に活動を進めています。



雪は雪山からコンテナ(写真)に貯蔵されて、冷熱として利用されています

おもな活動



岩見沢市と連携して、小中学生を対象に新エネルギーの農業利用について発表

農業土木工学科では、冬季に貯めていた雪を冷気として夏季の営農に活用する取組を行っております。特に雪冷熱を利用し、いちごの栽培を提案。こうした方法で栽培されたいちごは、岩見沢市内の農園において、「ゆきんこ」というブランドで生産・販売されています。雪冷熱の利用は、他に、胡蝶蘭の花芽分化調整やわさび栽培への融雪水利用、桜の開花時期調整、食品の低温熟成等様々な研究に活用しています。

また、地域活動にも取り組み、岩見沢市内の小中学校において、新エネルギーについての学習会を開催したり、市民向けに、雪冷熱の研究を発表する展示会を開催するなど、生徒が積極的に外に出て活動しています。

ここが自慢

【雪冷熱利用の研究で得られたもの】

雪冷熱を利用したいちごの栽培は2014年時点で3年目となり、岩見沢市内では8農家が同様の方法で栽培するようになりました。

また、農業土木工学科の研究活動は、北海道省エネ・新エネ促進大賞奨励賞や経済産業省の省エネルギー賞を受賞することにより、全国的なPRとなり、地域の活性化にも貢献しています。

このように生徒達が研究した成果は、将来、後輩達に受け継がれることにより、学習効果が高まっています。



岩見沢市と連携して雪冷熱イチゴ「ゆきんこ」の普及啓発活動を継続的に実施

データ

■代表者：西田丈夫さん／設立：1941年／会員：112名(学科生徒数)

■連絡先：岩見沢市並木町1番地5

■電話：0126-22-0130

■FAX：0126-22-5362

■H P：<http://www.gannou.ed.jp/>